

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F129310109293	設置等組織名	健康工学部（建築デザイン学科、健康イノベーション学科）
大学名	畿央大学	設置区分	私立	事業計画名	心身の健康を支えるアメニティ・オブ・ライフ（Amenity of Life: AOL）の実現を目指す「健康工学部」の設置
学校種	大学	都道府県	奈良		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、未定に承認日も赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業計画		進捗状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	1-① 令和6年 7月～10月 人材ニーズ調査及び設置構想の事前協議のためのヘルスケア・ヘルステック関連企業との対面でのニーズ調査（20社以上、うち5社以上は一部上場企業） 1-② 令和6年 7月～10月 人材ニーズ調査のための広域町商工会加盟企業約300社へのアンケート形式によるニーズ調査 1-③ 令和6年10月～12月 人材ニーズ調査及び設置構想の事前協議のための広域町商工会加盟企業と対面でのニーズ調査 1-④ 令和6年 7月～ 多様な学生確保のための実績型のプレゼンテーション総合型選抜入試導入の検討 1-⑤ 令和6年 7月～ 自大学以外の機関との連携を通じた教育体制整備のため企業、NPO法人、自治体との連携の協議 1-⑥ 令和6年 7月～ 自大学以外の機関との連携を通じた教育体制整備のため台湾の国立2大学との連携協定締結の協議 1-⑦ 令和6年 7月～ 実務系教員配置のための関係校との協議・協議 1-⑧ 令和6年 4月～10月 学生確保のための近畿地区及び三重県の重点校の生徒及び教員を対象とした進学意向調査□ 1-⑨ 令和6年 7月～ 学生確保のため広報ホームページの制作 1-⑩ 令和6年 7月～8月 学生確保のため健康工学部情報発信用ホームページ及びパンフレットの制作 1-⑪ 令和6年 7月～ 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他）□ 2期-① 令和6年7月～10月 教育研究環境整備のための新校舎基本設計 2期-② 令和6年11月～令和7年2月 教育研究環境整備のための新校舎実施設計	1-① 令和6年 9月～3月 人材ニーズ調査及び設置構想協議のためのヘルスケア・ヘルステック関連企業、医療法人、一般社団法人との対面及びWEBでのニーズ調査を実施した。（対面9社、WEB1社、計11社） 1-② 令和6年10月～12月 人材ニーズ調査のため建築、健康、保健、医療福祉系関連企業1,829社へのアンケート形式のニーズ調査を実施した。 1-③ 令和6年10月～12月 人材ニーズ調査及び設置構想の事前協議のための広域町商工会加盟企業と対面でのニーズ調査 1-④ 令和6年 7月～ 多様な学生確保のための実績型のプレゼンテーション総合型選抜入試導入について、事務局管理職会議、大学運営協議会の審議承認により実施することを決定した。 1-⑤ 令和6年 7月～ 自大学以外の機関との連携を通じた教育体制整備のため企業及び自治体と連携を協議し、自治体及び企業との3者連携協定の締結（1件）、自治体との連携協定の締結（1件）を行った。 1-⑥ 令和6年 3月～10月 自大学以外の機関との連携を通じた教育体制整備のため、台湾の国立成功大学、国立高雄大学と連携協定を締結した。 1-⑦ 令和6年 11月～1月 実務系教員配置のため、1名を採用した。 1-⑧ 令和6年 9月～12月 学生確保のため、近畿地区及び三重県の生徒を対象とした進学意向調査を実施した。（有効回答数10,028件（計85校）） 1-⑨ 令和6年 7月～ 学生確保のため健康工学部MVVを制作した。 1-⑩ 令和6年 5月～1月 学生確保のため健康工学部情報発信用ホームページ及びパンフレットを制作した。 1-⑪ 令和6年 7月～ 学生確保のための広報としてWEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板広告等を実施した。 2期-① 令和6年9月～12月 教育研究環境整備のための新校舎基本設計を実施した。 2期-② 令和7年1月～3月 教育研究環境整備のための新校舎実施設計を実施した。	令和6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	1期-①令和7年 4月～令和8年3月 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他）□ 1期-②令和7年 4月～令和7年5月 学生確保のため健康工学部情報発信用ホームページ及びパンフレットの内部リニューアル□ 2-① 令和7年9月～令和8年9月 教育研究環境整備のための新校舎建設□ 2-② 令和8年2月～3月 教育研究環境整備のための既存校舎改修□ 2-③ 令和8年2月～3月 教育研究環境整備のための既存施設での教育研究機器備品整備□	1期-①令和7年 4月～令和7年8月 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他）□ 1期-②令和7年 4月～令和7年5月 学生確保のため健康工学部情報発信用ホームページ及びパンフレットの内部リニューアル□ 2-① 令和7年9月～令和8年9月 教育研究環境整備のための新校舎建設□ 2-② 令和8年2月～3月 教育研究環境整備のための既存校舎改修□ 2-③ 令和8年2月～3月 教育研究環境整備のための既存施設での教育研究機器備品整備□	令和7年度自己評価	【2】計画を十分に実施していない。 令和7年8月に健康工学部設置認可申請を取下げたため。
令和7年度	3-①令和8年4月～令和12年3月 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他） 3-②令和8年4月～令和12年3月 初年度教育充実のための初年度教育プログラムの実施（各年度2月～3月） 3-③令和8年4月～令和12年3月 就職支援のためのキャリアプログラムの実施 3-④令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため海外インターンシップの実施（各年度6月、3月） 3-⑤令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため企業インターンシップの実施（各年度8月、12月） 3-⑥令和8年4月～令和12年3月 地域の初等中等教育機関の学校との連携のため出講派遣、採求授業の実施 2期-① 令和8年9月 教育研究環境整備のための新校舎での教育研究機器備品整備		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	3-①令和8年4月～令和12年3月 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他） 3-②令和8年4月～令和12年3月 初年度教育充実のための初年度教育プログラムの実施（各年度2月～3月） 3-③令和8年4月～令和12年3月 就職支援のためのキャリアプログラムの実施 3-④令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため海外インターンシップの実施（各年度6月、3月） 3-⑤令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため企業インターンシップの実施（各年度8月、12月） 3-⑥令和8年4月～令和12年3月 地域の初等中等教育機関の学校との連携のため出講派遣、採求授業の実施		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和8年度	3-①令和8年4月～令和12年3月 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他） 3-②令和8年4月～令和12年3月 初年度教育充実のための初年度教育プログラムの実施（各年度2月～3月） 3-③令和8年4月～令和12年3月 就職支援のためのキャリアプログラムの実施 3-④令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため海外インターンシップの実施（各年度6月、3月） 3-⑤令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため企業インターンシップの実施（各年度8月、12月） 3-⑥令和8年4月～令和12年3月 地域の初等中等教育機関の学校との連携のため出講派遣、採求授業の実施		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
	3-①令和8年4月～令和12年3月 学生確保のため広報資料（WEBプロモーション、動画配信、媒体誌提出、電車スタッカー、駅看板他） 3-②令和8年4月～令和12年3月 初年度教育充実のための初年度教育プログラムの実施（各年度2月～3月） 3-③令和8年4月～令和12年3月 就職支援のためのキャリアプログラムの実施 3-④令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため海外インターンシップの実施（各年度6月、3月） 3-⑤令和8年4月～令和12年3月 自大学以外の機関との連携を通じた教育の実施のため企業インターンシップの実施（各年度8月、12月） 3-⑥令和8年4月～令和12年3月 地域の初等中等教育機関の学校との連携のため出講派遣、採求授業の実施		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度				
令和14年度				
令和15年度				
認可申請 又は届出	令和7年3月 健康工学部 設置認可申請	令和7年3月 健康工学部 設置認可申請		
定員減又は 学部等の廃止	教育学部現代教育学科（教育学関係） 健康科学部人間環境デザイン学科（家政学関係） 入学定員 ▲30名（令和8年4月） 入学定員 ▲60名（令和8年4月）			

フイローアープ対象年度	令和7年度	大学名	畿央大学
-------------	-------	-----	------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付けられている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□
- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育がキョウムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の特組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。
- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
- ⑪ フェーズ3の助成期間終了時まで、に、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
- ⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、 令和7年度 の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

※については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件※について	現在の状況
※文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- チェック a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.企業や自治体と連携した科目の整備・実施 企業や自治体との緊密な連携に基づき「プロジェクトゼミ」は、実社会の課題に直接取り組みことで、学生に実践的な解決策を考える力を養成する。この科目は、フィールドワークや学生間の討議を通じて具体的な問題を見出し、解決への道筋を立てる能力の育成を目指す。また、課題解決型の「インターカレッジ演習B」も開講され、学生に対する課題解決能力の向上を図る計画である。 c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携 海外の大学との連携は、学生の国際的視野と実務能力の向上に不可欠である。特に、台湾の国立成功大学および国立高雄大学との交流は、令和5年度に海外インターンシップを実施するなど、具体的な成果を既に上げている。令和6年3月には奈良県での両大学とのワークショップが計画されており、学生および教員の交流を通じて、相互理解および学術的連携を深める。さらに、フェーズ1期間中にはこれらの大学との連携協定締結を目指す。協議を進める計画である。これにより、海外インターンシップを含む「インターカレッジ演習A」のような関連科目の充実が図られる。 これらの取り組みは、学生に対して実践的な学びの場を提供し、国際的な経験を積む機会を増やすことにより、彼らの能力開発を支援する。本事業は、これらの教育プログラムのさらなる充実と質の向上、そして実社会および国際社会で活躍できる人材の育成を加速させるために、極めて重要である。	令和7年8月に設置認可申請を取下げた	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a.入学者選抜における科目の見直し
- チェック b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張講義や啓発セミナー等）
- チェック d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
既存の入学者選抜制度に加えて、工科大系高校生、探究活動に力を入れる高校生、理系分野を目指す女子学生等を対象とした実績提案型のプレゼンテーション総合型選抜の導入を検討している。この新たな選抜方法は、多様な才能を持つ学生の受入れを可能にし、特にSTEM分野における女性の参画拡大を促進する。さらに、入学前教育およびリメディアル教育の充実により、総合型選抜および学校推薦型選抜からの入学者割合を増加させ、各学生の潜在能力を最大限に引き出す環境を整備する計画である。 入学生の約75%が女子である現状を踏まえ、女子学生の確保を継続しつつ、男子受験生の確保にも力を入れることで、ダイバーシティ社会で活躍できる人材の育成を目指す。この性別バランスの取り組みは、学術界における多様性の促進と社会全体のイノベーションに寄与する。 また、周辺自治体の小中学校や入学実績のある高等学校との包括連携協定に基づく出張講義や啓発セミナーを定期的に開催する計画は、地域社会における理系教育の推進と若い世代の科学技術への関心の喚起に貢献する。 社会人入試の定員枠を設定するとともに、科目等履修生制度の積極的な活用により、社会人学生やリスキリングを目指す人々への受入れを強化する。これらの施策は、生涯学習の推進と社会人のキャリア発展に貢献し、多様な経歴を持つ学生の大学へのアクセシビリティを拡大する。	令和7年8月に設置認可申請を取下げた	

大学名	畿央大学
-----	------

1.本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	畿央大学
-----	------

本事業対象となる学部等の個数	2
----------------	---

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	健康工学部建築デザイン学科（工学関係、家政学関係）

[illegible]

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	畿央大学
-----	------

(2)

改組内容	学部の新設
学部学科名	健康工学部健康イノベーション学科（工学関係、保健（その他）関係）

[illegible]

大学名	畿央大学
-----	------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	畿央大学
-----	------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	515	515	515																
		入学者数	人	535	490	541																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	0	0	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	515	515	515																
		入学者数(B)	人	535	490	541																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	0.95	1.05																
	収容定員等	収容定員(C)	人	2060	2060	2060																
		編入学定員	人	0	0	0																
		在籍者数(D)	人	2144	2098	2116																
		編入 入学者数	人	0	0	0																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.02	1.03																

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定												
項目		単位																			
外部資金獲得額		千円	86,552	80,824	72,733	73,503	75,426	93,885	92,830	107,808											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間に おける各年度の外部資金	千円	76,584
本事業による助成金の額 (F)	千円	1,082,500
フェーズ 3 の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	103,647

特記事項